

2015年9月吉日

日本・コートジボワール友好協会 設立趣意書

コートジボワール共和国は、西アフリカの中心部に位置し、人口2千万人を擁する自然豊かな国です。同国は、西アフリカの経済圏の発展と安定の鍵となる中心的な役割を担っている国であり、1960年の独立以来「イボワールの奇跡」と呼ばれる発展を遂げてきました。我が国は同国の独立と同時に外交関係を樹立し、以来現在まで友好関係を維持してきております。一方、同国においては90年代から政治的混乱が続き経済や社会も大きな打撃を受けましたが、現在はこのような状態から脱却し、経済成長率も年10パーセント近い成長を見せています。

両国関係におきましては、2011年前半に厳しい状況はあったものの2007年に日本大使館が再開以降、2011年11月にJICA事務所、2012年10月にはJETRO事務所が再開し、またコートジボワールに進出する本邦企業数も増加しており、両国関係が隆盛する機運が高まっています。そのような中、2014年1月には安倍総理が同国を訪問してワタラ大統領と会談し、両国関係強化の再確認がされました。更に同年6月のサッカー・ワールドカップでは両国が対戦して話題になる等、我が国一般国民の間においても同国の動向に対する注目が高まっています。同じように、コートジボワールからも日本との関係強化について期待が寄せられているところでもあります。

このような背景から、駐日コートジボワール大使及び同館のご協力の下、2015年7月7日に「日本・コートジボワール友好協会設立準備委員会」が発足し、本協会の設立に向けた準備を開始することとなりました。本協会は、二国間の親善関係を深め、経済、技術、文化および学術等の分野における協力及び交流を促進すること、並びに相互の繁栄に寄与することを目的とし、これらの目的を達成するために以下の活動を行うことを予定しております。

- 1) 二国間の経済、技術、文化および学術等の交流の強化と相互理解の促進の為の本邦及び海外での活動
- 2) 行事の主催、後援、支援活動の実施及び他の団体との提携
- 3) 各種情報の会員への配信
- 4) その他、本協会が適当と認める活動

本協会設立の趣旨にご理解を賜り、広範囲の方々の御支援と御啓示をいただきたく、心よりお願い申し上げます。

日本・コートジボワール友好協会
会長 元在コートジボワール日本大使
黒川祐次